

記入者: _____

【 _____ 港】 旅客船用

津波対応 確認事項

船舶運航事業者が事前に記入（船長等と確認）

入港前にあらかじめ確認

船舶情報	
船名 :	総トン数 :
乗員 :	旅客定員 :

避難基本情報		
避難海域: 北緯	度 分 東経	度 分
緊急避難時の港内又は係留避泊地:		

連絡先	
港長:	海上保安部 :
港湾管理者:	その他 :

可能な限り、事前に津波情報を確認 想定最大津波高: _____ m (到達時間: _____)

津波対応（判断目安）

津波到達時間に応じた津波対応（判断目安）					
警報レベル	津波高さ	着岸中		錨泊中	
		_____分以内	_____分以上	_____分以内	_____分以上
大津波警報	3 m 以上				
津波警報	1 ~ 3 m				
津波注意報	1 m 未満				



船長が判断

地震・津波発生時に判断

地震情報			
時刻	規模	発生地	震度
時 分	M		
津波情報			
大津波警報	津波警報	津波注意報	
津波到達時間	分	津波予想高	m
船長判断			



チェックリスト

(可能な限り、各作業の想定所要時間を事前に記入)

津波情報の収集手段を確保し、情報収集
(テレビ・ラジオ・VHF)

港長・港湾管理者等の
指示の有無を確認

港外退避の場合

- ① 乗員招集、離棧・出港（エンジン及びスラスタ）への準備（ 分）
- ② 乗客に対するアナウンス
- ③ 人動橋（及び可動橋）を確認（ 分）
- ④ 出港航路の状況（障害物及び他船の存在）を確認（ 分）
- ⑤ 綱取り支援の有無（係留索の解除、又は切断）
- ⑥ 出港後、陸上の関連部署に連絡 緊急出港まで（ 分）
- _____

最新の津波情報の聴取継続
(テレビ・ラジオ・VHF)

係留強化の場合

- ① 乗客へのアナウンス（ 分）
- ② 係留索ウィンチ（ブレーカ）の確認、係留索（ライン）増し締め（ 分）
- ③ 停止状態にあるアンカーの準備（アンカーがある場合）（ 分）
- ④ エンジン及びスラスタの準備（索切断、漂流に備えて）（ 分）
- ⑤ 陸上の関連部署に連絡・確認 係留措置完了まで（ 分）
- _____

最新の津波情報の聴取継続
(テレビ・ラジオ・VHF)

陸上避難の場合

- ① 乗客へのアナウンス
- ② 乗員（及び乗客）の点呼・確認（ 分）
- ③ 退避先、避難方法、所要時間の確認
- ④ 総員退避の指示
- ⑤ 総員退避までに必要な船内作業 退船まで（ 分）
- _____

最新の津波情報の聴取継続
(テレビ・ラジオ・VHF)

漂流した場合の留意（補足）

津波が襲来したときは、係留索が切断され、船舶が埠頭から離れ漂流してしまうおそれがある。また、陸上では、ボーディングブリッジのようなターミナル施設も崩壊してしまう危険性がある。船員は、これを受けて、船舶が漂流することを前提に、安全（避難）海域及び陸上の安全区域を確認しておく。